



写真:河野朝典

## 新倉壮朗 (TAKEO NIIKURA)

11才の時、アフリカセネガルの太鼓「サバル」と出会い、アフリカ音楽にのめり込む。2002 年より「新倉壮朗の世界」と題して定期的にコンサートを開き、ピアノ、マリンバ、鍵盤ハーモニカ、バラフォン、サバル、ジェンベetc.で思いのたけを表現し、パワフルなステージを繰り広げている。今までに、山下洋輔、大口純一郎、林栄一、菊地成孔、森重靖宗、谷川賢作、野村誠、片岡祐介、松永貴志、會田瑞樹、大友良英、巻上公一、梅津和時、内橋和久、ワガン・ンジャイ・ローズ、BB モフラン等のミュージシャンや音楽・太鼓仲間と共演。日本や海外各地で「タケオにしか出来ない、タケオだから出来る」コンサートを開催し、即興音楽の魅力と楽しさを発信している。

2011 年、セネガルでの様子を中心に音楽を介したコミュニケーションを描いたドキュメンタリー 映画「タケオ」を製作、日本と世界で上映され、好評を博す。

2024年、2作目のドキュメンタリー 映画「今、この時」が完成し、公開中。

ブログ <http://takeoyume.exblog.jp>

ドキュメンタリー映画「タケオ」<http://www.takeo-cinema.jp/>

ドキュメンタリー 映画「今、この時」[http://www.instagram.com/takeo\\_cinema/](http://www.instagram.com/takeo_cinema/)



写真:足立剛一

## Wagane Ndiaye Rose(ワガン・ンジャイ・ローズ)

1971年セネガルのダカールで生まれる。父はセネガルの人間国宝であり文化の担い手であるグリオのドゥドゥ・ンジャイ・ローズ。大家族の中で18番目に生まれたワガンは、厳格な父のオーケストラの一員としてサバルを徹底的に教え込まれる。90年代後半、日本に移住しサバル、そしてセネガル文化の伝道師として各地でワークショップを開催。またRolling Stones、Stevie Wonder、James Brownをはじめ世界的なミュージシャンとの共演も多く、2000年1月には父のグループの一員として全米50ヶ所に及ぶツアーを行った。2002年システムレーベルから自身のアルバム“NDADJE”を発表。最近では日本のミュージシャン達との交流も深く、林英哲、加藤登紀子、渡辺貞夫、坂田明、綾戸智絵などのグループでも活動。ジャンルを超えた表現力でアフリカンミュージックの真髄を伝え続けている。

## Boga Ndiaye (ボガ・ンジャイ)

1977年セネガルのダカールでグリオSing Singの家系に生まれる。幼少より太鼓と踊りを学び、10代の頃から、セネガルの人間国宝ドゥドゥ・ンジャイ・ローズと共に世界各地でコンサート活動を行う。2000年ドゥドゥ・ンジャイ・ローズ日本公演にて初来日。2001年にはアフリカ代表のバンドとしてNHK紅白歌合戦に出演。渡辺貞夫やSMAP、EXILE、その他 様々なミュージシャンと共演。2005年より拠点を日本に移し、定期的な太鼓クラス、ダンスクラスを行うと共に日本各地で演奏活動を行い太鼓と踊りの魅力を多くの人に伝えて続けている。日本におけるドゥドゥ・ンジャイ・ローズの音楽の伝道師の1人である。



写真:足立剛一